

「コロナ禍を 勉学に励む 後輩のために」

CONTENTS

同窓会長、学校長あいさつ	1
事業・決算報告 / 事業・予算計画	2-3
学校だより	4-5
会員寄稿	6
高校再編 / 総会案内	7
会費について / 役員名簿 / 編集後記	8

同窓会長あいさつ

同窓会長 下島 典子



会員の皆様、お変わりございませんか。依然としてコロナの感染が収束しない中、今年も同窓会総会を開催できずに新年度の活動をスタートいたしました。

今年度の当番学年、32回生の皆さんは男女共学の第一期生でした。創立百周年記念事業の際、還暦を迎えられた皆様とともに実行委員として活躍された、とてもまとまりのある学年であったとお聞きしております。例年通り開催できていたら、どんなにか盛大な宴になったであろうと思いますと本当に残念です。

在校生にとっては学校行事の縮小により寂しい想いのある中にも、様々な形で高校生活の思い出を作っている様子が伺えました。3月には「総合的な探求の時間」として、「郷土愛プロジェクト」の応援を受けながら、在校生の自主的な運営による「ドライブシアター」が開催されました。発信された地域の魅力ある動画は観る人たちに大きな感動を与えてくれました。様々な方々のご支援、ご協力も得て実現したこの企画はきっと素晴らしい体験になったことでしょう。詳しくは同窓会ホームページにてご覧ください。

母校と伊那北高校の再編統合につきましては昨年度より懇話会が開かれ、その都度新聞などで報道されていますので会員の皆様も関心をお持ちのことと存じます。教育現場だけでなく地域も共に関わり、未来を担う子供たち一人ひとりが輝ける素晴らしい新校ができますよう願っております。

ワクチン接種が進みつつあります。穏やかな日常が戻ることを願いつつ、母校、在校生への支援を続けてまいりたいと思います。今後も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様お健やかにお過ごしくださいますように。

学校長あいさつ

伊那弥生ヶ丘高等学校長 松村 明



この4月に長野県教育委員会事務局心の支援課から赴任してまいりました松村明です。同窓会の皆様方には、日頃より母校の教育活動に多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

創立110年を迎える歴史と伝統のある伊那弥生ヶ丘高等学校に赴任できましたことは、自分にとって大変光栄であり、また、身の引き締まる思いであります。

私は、部活動の顧問をしていた頃、本校大体育館には大会や練習試合で何度も訪れており、当時お世話になった先生方や生徒のこと、熱く指導していたことを懐かしく思い出します。

本校の生徒は、全員が部活動に加入することになっており、学習と部活動を共に懸命に頑張る姿は、先輩方から引き継がれてきた「自主自立」「文武両道」の精神が現在でも健在であることを示しており、頼もしい限りです。さらに強く逞しく成長してほしいと願っているところです。

昨年度、臨時休業からはじまり、自粛生活やその後の授業の回復やそのための行事の精選、大会や発表会等の中止といった今まで経験したことのない苦難がありました。そのような苦難の中で、人とのつながりの大切さが見えてきました。これからの時代でも不変であり、その大切さは在校生に伝えていきたいと考えます。

一生懸命頑張る生徒のため、本校の発展のために尽力していく所存です。母校に足を運ばれる際には、気兼ねなく声をかけていただけたら幸いです。

本年度5月22日に予定していた総会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、および出席される皆様の健康と安全を第一に考慮して中止とし、理事による書面決議といたしました。6月4日までに決議書を返送していただいた結果、総会提出議案のすべてが全員賛成で可決されました。ご協力ありがとうございました。

令和2年度 事業報告

新型コロナウイルス感染防止のため、当初計画した会議や事業を中止や制限、変更せざるを得ない場面が多くあったため、活動は限られました。

〈事業〉

事業名	内容
① 組織の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇ SNSを活用することにより、役員との迅速で効率的な情報伝達、共有を図ることができた。 ◇ 支部役員会が開けない状況であったため、本部役員が出席して意見交換や情報収集をすることができなかった。 ◇ 会費については、単年度措置として全会員振り込みの方法を取り入れた。
② 情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 会報を発行し、全会員、教職員、在校生へ配布した。 ◇ ホームページを活用して、迅速な情報の発信を行なった。
③ 母校の教育活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教育諸活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ クラブ活動助成（全国大会出場クラブ） ・ 学力向上、進路実現のための支援事業（弥生塾）への助成 ・ 新型コロナウイルス対策関係備品、物品の寄贈 ◇ 卒業生への記念品（卒業証書ホルダー）の贈呈
④ 高校改革への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 伊那新校（仮称）再編実施計画懇話会に同窓会の代表を送った。 ◇ 統合に向けて、状況の把握、情報や課題の共有を図り、その対応について、研究協議を行った。

〈会議等〉

- 常任理事会 2回
- 専門委員会 6回
- 高校再編・整備計画についての説明会 他

令和2年度 一般会計決算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収入	11,810,159円
支出	11,611,604円
差引	198,555円

〈収入の部〉

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増減
1 繰越金	396,943	396,943	0
2 会費	10,620,000	9,893,000	△727,000
3 繰入金	0	1,500,000	1,500,000
4 雑収入	13,057	20,216	7,159
合計	11,030,000	11,810,159	780,159

〈支出の部〉

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増減
1 事務費	4,090,000	3,768,012	△321,988
2 交際費	90,000	80,578	△9,422
3 会議費	60,000	47,971	△12,029
4 旅費	50,000	0	△50,000
5 事業費	4,040,000	3,354,693	△685,307
6 広告費	40,000	39,600	△400
7 修繕費	20,000	178,750	158,750
8 操出費	2,630,000	4,142,000	1,512,000
9 予備費	10,000	0	△10,000
合計	11,030,000	11,611,604	581,604

(△ 決算額が予算額より少ない場合)

令和2年度 終身会費積立金 決算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位 円)

前年度末積立額	今年度変動額				今年度末積立額
	繰り入れ額	繰り出し額	利息	計	
12,756,775	4,142,000	2,037,000	100	2,105,100	14,861,875

※1 本年度、終身会費として納入された金額の内、年会費（1人当たり1,000円）を除いた金額を来年度以降の終身会費として積み立てた

※2 昨年度末までの終身会費納入者累計2,037名の年会費（1人当たり1,000円）を、本年度分の会費として一般会計に繰り出した

令和2年度 基金積立金 決算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位 円)

前年度末基金額	今年度変動額				今年度末基金額
	積立額	取崩額	利息	計	
3,403,834	0	1,500,000	290	△1,499,710	1,904,124

監査の結果、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

令和3年4月21日

監事 小林 耐子
原 紀子

令和3年度 事業計画

〈目 標〉

- ◇同窓会組織および活動の充実、発展 ◇母校の教育活動支援

〈活動の重点〉

- ① 本会、支部組織が機能、充実するために会費制をはじめとした必要な環境整備を行う
 ② 情報を積極的に発信する ③ 教育活動支援を行う ④ 伊那新校設置への対応を行う

〈具体的推進事項〉

事業名	内 容
① 組織の充実	◇会費制の定着を図るため、継続した検討、周知を行う。 ◇支部組織がより機能するための支援を行う。 ◇会運営を円滑に行うために必要となる規定や環境の整備を進める。(SNSの効果的な利用の促進を図ることを含む)
② 情報の発信	◇会報を年一回発行し、情報の提供、共有を図る。 ◇より多くの会員が興味を持てるよう、ホームページを活用し、積極的、効果的な情報の発信を行う。
③ 会員の交流	◇講演会または演奏会等を企画し会員の資質向上を図る。 ◇弥生展を開催して、会員の発表の機会とし、あわせて会員同士の交流の場とする。
④ 母校の教育活動支援	◇教育諸活動への支援を行う。 ・クラブ活動助成 ・学力向上、進路希望実現のための支援事業への助成 ・その他必要な助成 ◇卒業生へ記念品(卒業証書ホルダー)を贈呈する。
⑤ 伊那新校設置への対応	◇推進状況を把握し、具体的な対応について研究協議を行う。

※上記活動を次の各組織を中心として推進する

- 正副会長会 ・同窓会業務推進等全般について検討する
 ○執行委員会 ・各専門委員会委員長により構成し、同窓会組織、活動推進に対する立案、提案を総合的に行う
 ○常任理事会 ・同窓会活動を推進するにあたり協議、検討を行う
 ・次の専門委員会を設置し、具体的な活動の推進を行う

〈専門委員会〉

- ①組織委員会 ・同窓会組織の充実、支部組織の強化、整備、会費制の充実、整備を行う
 ②教養文化委員会 ・同窓会主催の講演会、音楽会等の企画、弥生展の企画を行う
 ③広報委員会 ・会報の発行、ホームページの整備等情報発信を行う
 ④新校検討委員会 ・伊那新校(仮称)設置に向け、迅速な動向の把握、情報収集を行い、その対応にあたる
 ○理事会 ・支部長により構成し、年2～3回開催、活動推進について協議、提言を行う
 ○総 会 ・年1回開催し、事業、決算、予算等の承認を行う

令和3年度 一般会計予算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収 入	10,250,000円
支 出	10,250,000円
差 引	0円

〈収入の部〉

(単位 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
1 繰越金	198,555	396,943	△198,388
2 会 費	10,050,000	10,620,000	△570,000
3 繰入金	0	0	0
4 雑収入	1,445	13,057	△11,612
合 計	10,250,000	11,030,000	△780,000

〈支出の部〉

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
1 事務費	3,730,000	4,090,000	△360,000
2 交際費	90,000	90,000	0
3 会議費	40,000	60,000	△20,000
4 旅 費	20,000	50,000	△30,000
5 事業費	2,900,000	4,040,000	△1,140,000
6 広告費	20,000	40,000	△20,000
7 修繕費	50,000	20,000	30,000
8 操出費	3,390,000	2,630,000	760,000
9 予備費	10,000	10,000	0
合 計	10,250,000	11,030,000	△780,000

(△ 予算額が前年度予算額より少ない場合)

令和3年度 終身会費積立金 予算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位 円)

前年度末積立額	今年度変動予定額				今年度末積立額
	繰り入れ額	繰り出し額	利息	計	
14,861,875	3,390,000	2,687,000	125	703,125	15,565,000

※1 本年度、終身会費として納入された金額の内、年会費(1人当たり1,000円)を除いた金額を来年度以降の終身会費として積み立てる(一般会計:8繰出金)

※2 昨年度未までの終身会費納入者累計2,687名の年会費(1人当たり1,000円)を、本年度分の会費として一般会計に繰り出す(一般会計:2会費に含む)

令和3年度 基金積立金 予算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位 円)

前年度末基金額	今年度変動予定額				今年度末基金額
	積立額	取崩額	利息	計	
1,904,124	0	0	876	876	1,905,000

事業計画及び予算については、通常通り推進するものとして計画、予算計上してありますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、活動の変更や縮小もあることをあらかじめご承知おきください。

今春の卒業生は、大学入試制度の改革や入試時期にコロナウイルスが流行するなど、厳しい状況の中ではありましたが、生徒さんたちの健闘と挑戦に先生方の的確な指導が結びつき、次表のような実績につながりました。

〈卒業生の進路状況〉

	進 学						計	就 職		計	浪人	その他	合計
	大 学		短 期 大 学		専 門 学 校 等			公務員	民間				
	国公立	私立	公立	私立	看護医療系	他							
男子	27	53	2	0	2	8	92	3	2	5	10	0	107
女子	25	59	3	9	8	12	116	2	5	7	3	3	129
合計	52	112	5	9	10	20	208	5	7	12	13	3	236
合格延数	54	322	7	10	16	20	429	5	7	12			441

進路状況

進学率 88.1%

就職率 5.1%

○主な進学実績

東北、秋田、山形、東京海洋、上越教育、新潟、富山、金沢、福井、山梨、信州、静岡、滋賀、広島、埼玉県立、長野県立、長野県看護、公立諏訪東京理科；

青山学院、北里、國學院、駒澤、日本、東洋、明治、明治学院、南山、藤田医科、京都産業、立命館、龍谷、関西、関西学院、甲南 など

○主な就職実績

伊那食品工業、上伊那広域消防、箕輪町役場、箕輪町商工会 など

弥生生徒 produce

ドライブシアター Drive Theater

伊那弥生ヶ丘高校の生徒プロデュース ドライブシアター「跳べ！地域の魅力、燃えろ！未来の子供たち」が3月14日、伊那市で行われました。

この企画は学校での総合的な探求の時間の延長として、生徒がプロジェクトチーム「STCO」を立ち上げ、大人の力をできるだけ借りずに、高校生目線で、自分たちの地域を取材し、地域の魅力を発信したものです。資金調達、映像制作などの準備から当日の運営まですべて生徒たちが中心になって進め、イベントを成功させた貴重な経験は、生徒自身が地元の素晴らしさを再発見すると共にこれから社会を担っていくための大きな力になったことと思います。



〈スタッフの感想から一部紹介〉

- ・自分たちが主体となって行う活動は初めてで不安でしたがとても楽しかったです。
- ・何度もうまくいかないことや困難に直面しましたが、諦めずに協力しあって素晴らしい形にできたことは大きな自信につながりました。
- ・地域の文化やそこに暮らしている人の想いなど、今まで知らなかったことを、実際にかかわることでもたくさん知ることができました。
- ・周りの大人の方々は、私たちがやりたいことをちゃんと見て支えてくださり本当にうれしかったです。

ダンス部

最高のパフォーマンスを!!

ダンス部は現在、1年生19名、2年生6名、3年生10名の計35名で活動しています。

日々の部活動では、アイソレーションを中心とした基礎練習に特に力を入れています。部員の基礎技術が向上したことで、昨年度はダンスドリル秋季大会甲信越地区ヒップホップ部門スモール編成で1位となり、全国大会へ出場することができました。また、長野県ダンスフェスティバル、ミディウム部門で3位に入るなど、各大会で結果を残すことができました。週に一度、外部コーチのレッスンも取り入れ、さらなる技術の向上を図りながら充実した部活動を行なっています。

今は6月末の弥生祭に向けて練習に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響で規模が縮小されるなど、例年とは違った弥生祭になります。発表にも様々な制限がありますが、踊る人、見る人、すべての人が楽しめるステージをめざし、部員一同協力して、最高のパフォーマンスをお見せします。ご期待ください。



男子ソフトボール部

全国ベスト16位の栄光

男子ソフトボール部は現在、3年生9名、2年生4名、1年生9名、計22名で活動しています。県内には2校しかなく、全国的にもめずらしい部活です。そのため、地域の社会人チームを相手に練習試合をすることもあります。昨年の新人戦では、それまでに一度も高校生と対戦したことがなく少し不安がありましたが、日々の練習を積み重ね、全員が全力でプレーすることで、勝利し春の選抜大会の出場権を獲得できました。そして、春の選抜大会では、初戦を突破することができました。2回戦で負けてしまいましたが、全国ベスト16位の栄光を掴むことができました。ここまで来られたのは、たくさんの方々からの応援や支援があったからです。だからこそ、私たちは周りの方々への感謝を忘れないようにしています。

今後も、ソフトボールを通じて多くのことを学び、その経験を生かして人として成長していきたいと思っています。



写真部

各種フォトコンテスト受賞

写真部は、主な活動として撮影会や作品の校内展示などを行っています。そして、今年は新入生がたくさん入部してくれたので、ますます活動が盛り上がりそうです。

昨年は各種フォトコンテストに応募し、多くの部員の作品が展示され、一部の作品は賞を受賞しました。部員全員が集まって活動することはあまりできませんでしたが、個人での撮影を通して、撮影技術の向上を果たすことができたのだと思います。

個人で撮影する部員は多いですが、少人数での撮影会も行なっています。先日は伊那市内で、学校から歩いて行ける範囲の市街地の街並みを撮影し、作品に仕上げました。この作品は、写真甲子園というフォトコンテストに応募しました。

こうして撮影した作品は、フォトコンテストに応募するだけでなく、多くの人に作品を見てもらうため、校内に展示しています。写真部は、今後もこのような活動を続けていきたいと思っています。



祝 全国大会出場

- 器楽部 全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール (7月・大阪府)
- 男子ソフトボール部 全国高等学校総合体育大会 (8月・福井県)
- 写真部 全国高等学校総合文化祭 (8月・和歌山県)

母校への感謝のしるしとして写真を寄贈

上島 勝幸

「天に雲生む仙丈と…」で始まる現校歌の歌詞にちなみ、夕陽に染まる雲と仙丈ヶ岳を撮影した写真を母校へ寄贈させていただくことになりました。

私が本格的に写真を撮り始めたのは30歳を過ぎてから。きっかけは高校の同級生であった亡き田中昌浩君が、病床で、「昔、一緒に見た富士山をまた見たいなあ」と言った言葉を聞き、霧ヶ峰に通って撮影した富士山の写真を届けました。彼は涙を流して喜んでくれて、その時に写真の良さを痛感しました。そして仕事の傍ら、34歳の時に写真団体への入会と同時に、元文部科学省所管の全国二科展に応募し始め、今年2月には二科会写真部会員に推挙されました。写真を撮り始めて以来、長野県の自然、暮らしや花、今も僅かに残る製糸産業の写真を撮り続けています。

私の周りには、弥生を母校とする多くのかげがえのない人達が多く、そんな皆様への感謝のしるしとして、拙い写真ではありますが、生徒の皆様や関連の方々に見ていただければ幸いです。

最後に、この度の寄贈にあたり、松村校長先生、同窓会役員の皆様にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

上島勝幸 プロフィール

日本電信電話公社（現NTT）入社。現在までNTTグループの通信設備の技術者として勤務。
二科会写真部会員。長野県写真連盟理事、長野写友会事務局長等



東京五輪の聖火リレーが4月初めに長野県内で行われ、2日目には県の中南部の市町村を約90名のランナーが走りました。その中で同窓生の森下美沙さんが木曾郡南木曾町で聖火ランナーの大役を務めました。沿道の拍手に包まれながら、江戸時代の景観が残る妻籠宿の木造の家屋が建ち並ぶ街道をゆっくりと走り、夢と希望の灯を次へと繋ぎました。「沿道のハナモモがきれいで、たくさんの人に支えられて楽しく走れた」と当日を振り返って話されていました。

世界的なイベントにかかわった貴重な経験と想いを寄せていただきました。

感謝を伝えたい聖火リレー

森下 美沙 (旧姓：杉江)



わたしは南箕輪村で生まれ、5歳からクラシックバレエを習い、中学・高校時代は並行して陸上部にも所属し、体を動かすことが大好きでした。大学卒業後もスポーツメーカーで2年間販売員として働き、その後営業職に転職してからも仕事終わりや週末にはランニングやヨガで体を動かしていました。

しかし、2019年3月、朝起きると手足が全く動かなくなっており救急搬送。10万人に1人の難病、ギランバレー症候群と診断されました。1ヶ月を超える入院で治療、リハビリに励み、1ヶ月半後に職場復帰、そして2ヶ月後には走れるまで回復しました。それまで当たり前だったことが突然当たり前でなくなることを経験し、健康の大切さを知り、スポーツの楽しさをより実感しました。聖火ランナーとして走ることを通し、同じ病気で苦しんでいる方に勇気や希望を与え、また入院中に支えてくれた家族への感謝の気持ちを伝えたいと思い応募しました。

しかし東京オリンピック・パラリンピックの延期に伴い、聖火リレーが1年延期になってしまいました。その間にわたしは結婚、妊娠。妊娠の経過が悪く二度の入院を経験しましたが、予定日より23日早い2021年1月28日に第一子を出産しました。聖火ランナーに応募した当初の想いに加え、困難を一緒に乗り越えて生まれてきてくれた息子にも勇姿を見てもらいたいという想いも芽生えました。

聖火リレー当日、手には聖火の灯ったトーチ、そして沿道にはわたしの母に抱えられた生後2ヶ月の息子。2年前の手足が全く動かないわたしには想像すらできない姿でした。息子がいつか大きくなって、「僕のママは聖火リレー走ったんだよ！僕も見てたんだよ！」と自慢できるような経験ができました。

伊那新校開校に向けて

長野県教育委員会が進める再編整備計画により、母校と伊那北高校再編統合し、伊那新校（仮称）を開校することが決定されており、現在、新校開校に向けての協議が進められています。概略は以下のとおりです。

長野県教育委員会

以下の期間での検討結果を踏まえ、再編実施基本計画を策定し、県教委に統合の同意を求める予定

①「伊那新校実施計画懇話会」の設置

2020年11月26日に初会合、現在まで5回行われている。

❖ 構成員：両校の学校関係者、自治体・産業界等の地域関係者、PTA、同窓会、生徒の代表者、学識経験者27名

❖ 協議内容：

- 学校像、教育方針
- 校地・施設・設備
- 設置課程・募集開始年度・募集定員
- 教育内容など

②「校地検討部会」の設置

2021年2月16日に初会合、現在まで4回行われている。

❖ 構成員：両校の校長、同窓会、自治体、産業界の代表者8名

❖ 協議内容：魅力ある学校を創出するための教育環境整備

- 校地・校舎の環境
- 通学環境
- 学習活動を支える教育環境
- 自治体のまちづくり などの視点から検討

⇒ 確認事項：原則的には現在の校地の使用を前提として検討する・授業の学びは一か所の校地で行うことを原則とする



同窓会

「新校検討委員会」により対応

- ① 伊那新校実施計画懇話会及び校地検討部会へ代表者を送っている
- ② 客観的な立場という共通認識を持ったうえで、あくまでも将来を担う子供たちのため、関わる地域や環境、商工業などのまちの将来像をも念頭に入れて検討を重ねている。

※ 同窓会としては以上のように公平性を旨に再編への対応を行っております。子どもたちにとって素晴らしい学校の創設が実現できますよう、今後も県教育委員会への提言や質問などを重ねながら対応してまいります。同窓会のあり方についても順次考えてまいりたいと思います。再編に関しての皆様のご意見、ご要望を事務局までお寄せください。

長野県教育委員会無高校改革関係のホームページ
⇒ 高校改革～夢に挑戦する学び～/
長野県教育委員会 (nagano.lg.jp)

総会案内

令和4年度総会のお知らせ

❖ 期日：令和4年5月28日（土）

❖ 会場：伊那市生涯学習センター「いなっせ」6階ホール

※ 当番学年は、高校33回生（昭和56年3月卒業）です。

弥生展

❖ 会期：令和4年5月23日（月）～29日（日）

❖ 会場：伊那市生涯学習センター「いなっせ」2階展示ギャラリー

※ 書道、手工芸の作品を展示します。



令和3年度年会費・終身会費納入のお願い

令和2年度同窓会年会費、終身会費を納入いただきましてありがとうございました。皆様からの会費に支えられ、次のような活動を行ってまいります。本会の安定的な運営と母校への支援のため、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 会報の発行
- 支部活動等の支援
- 講演会、演奏会などの開催
- クラブ活動の助成と教育活動の支援

《金額》 25,000円（終身会費）

※平成24年度から納めていただいている分を含めます。ただし④の「年齢による特例措置」により納めていただく場合は除きます。

次のいずれかの方法でお願いいたします。

- ① 25,000円を一括納入
- ② 59歳までに15,000円、60歳時に10,000円を納入
- ③ 毎年1,000円を納入
- ④ 特例措置として、次の年齢の方はこの金額で納入していただけます。
 - ・ 60歳以上：10,000円・70歳以上：5,000円
 - ・ 80歳以上：名誉会員のため会費はいただきません

《納入方法》 コロナ禍の状況下でありますので、本年度も集金にはお伺いしません。同封の振込用紙にて郵便局よりお振込みください。

《納入期限》 令和4年1月末までをお願いします。

※ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

本会役員名簿 (令和3年度改選)

会 長	下島 典子	副 会 長	西原 功
副 会 長	鈴木のり子	常任理事	百瀬 哲也
常任理事	中村 繁子	〃	伊藤 圭子
〃	守屋あつ子	〃	田畑 和輝
〃	酒井裕美子	〃	塩澤 康一
〃	河井 啓子	監 事	小林 耐子
〃	丸山 紀子	〃	原 紀子
〃	安積 順子	幹 事	常田真由美 (学校)
〃	金沢千佳子	〃	林 友海子 (学校)
〃	広瀬夏葉子	事 務 局	田中真奈美
〃	北原美智代		



会長挨拶及び当日鑑賞予定であったクラブ活動紹介映像は当会ホームページにアクセスしていただくと動画がご覧になれます。



コロナ禍で自制自粛の生活が続いています。節目の年、時であられる同窓生の皆様方、この苦難を乗り越え、また、お会いできます日々が一日も早く来ますよう、願うばかりです。